

伊藤滋会長 特別講演開催レポート

2017年5月13日開催

去る5月13日（土）に、日本危機管理士機構主催で、伊藤滋会長（早稲田大学特命教授）をお迎えし、特別講演を開催致しました。『東日本大震災からの復興覚書』というテーマで、6年間にわたる被災地の視察から見た、被災地の現状、震災復興に求められるものについて講演いただきました。



原発事故を受けた福島県の今と沿岸被災市町村の復興の様子を中心に、市町村や各駅の現状について説明いただきました。避難指示区域の現状や鉄道の再開状況についても詳しく報告されました。

津波により多くの被害を受けた沿岸被災地域では、防潮堤の整備や土地のかさ上げ、高台を中心とした災害公営住宅の整備等が進んでいる一方で、これらは膨大な時間とコストがかかるものであり、地域規模にあった復興の重要性についても触れられました。

また、多くの鉄筋コンクリート造の建築物が津波の被害後にも残存している事例が多くあることから、それらの重要性や議論の必要性も指摘されました。

今後への期待を参加者と確認し合い、更なる復興地域の広がりが望まれました。